

名都借の木



2018年10月10日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000

2018年度読書週間 「ホッと一息 本と一息」



今年の読書週間の標語は「ホッと一息 本と一息」です。

作者の沢田真紀さんによれば、

「忙しい日常のひと時、5分でも10分でも本を読んでいる間は本と自分だけの時間。つついきりがつけられずホッとしゃばなしになるのが玉に瑕……わたしのたいせつな時間です。」

とのこと。

皆さんの「たいせつな時間」、ホッと一息つくときのお供に、ぜひ図書館の本をどうぞ。

絵本でホッと一息



バージニア・リー・バートン著
「ちいさいおうち」
(1965年、岩波書店)

2018年は「バージニア・リー・バートン没50年」、そして「いわさきちひろ生誕100年」に当たります。バージニア・リー・バートンは『ちいさいおうち』のように自然と調和した暮らしを描く一方で、『はたらきものじょせつしゃ けいていー』などでは古びてしまったけれど愛すべき働き者の機械たちを描いています。

また、いわさきちひろはかわいいだけではなく「子どもの輝き」を、淡い水彩画で表現し続けました。見る人をホッとさせる彼女たちの絵本は、今も多くの人たちに愛され、読み継がれています。



あまみきみこ文、
いわさきちひろ絵
「おにたのぼうし」
(1969年、ポプラ社)

重圧のなかでホッと一息

日本が中国との戦争を始めた1937年、『君たちはどう生きるか』で有名な吉野源三郎が、イギリスのペンギンブックス(1935年発刊)を模範にした出版を、岩波書店で企画しました。

これは、激しさを増す言論弾圧を背景に「非合理的強圧に堪えつつ生きている多くの人々に、楽な呼吸の出来る若干の時間を提供」するためのもの、として構想されました。

そして80年前の1938年11月、私たちの社会で今起きていることについてフレッシュな知識を提供する「新書」として、岩波新書が発刊されました。以来何回かの休刊を経て、今日でも同じ役割を担って出版され続けています。

流山市立図書館の岩波新書は、主に中央館で所蔵しています。市内のどの館へもお取り寄せして貸出できますので、お気軽にお声をおかけください。



鹿野政直著
「岩波新書の歴史」
(2006年、岩波書店)



日本語を あじわう



本郷 陽二/著
『使いこなしてみたい
大和言葉の形容詞』
(実務教育出版)

～ 日常に彩りを ～

多くの方に楽しんで頂いている時代小説。物語の面白さもさることながら、綴られる言葉にも、心引かれるところがあるのではないのでしょうか。

なかでも、大和言葉の形容詞は、雰囲気や空気感を漂わせ、私たちの感性を豊かにしてくれます。

本書は、そんな大和言葉の中でも、日常の手紙や挨拶に取り入れ易い語を集め、由来や背景を分かり易く紹介してくれています。普段の言葉遣いに色を添えて、心豊かに暮らしてみませんか？



この本もおすすめです！



鶴川 昇/著
『日本人なら知っておきたい
名著にある美しい日本語』
(PHP 研究所)



山下 景子/
大島 資生 監修
『日々の会話が華やく
大和言葉』
(笠倉出版社)



他にこんな本もあります！



ラジオの番組から生まれた一冊です。四季を過ごす日本人の、身の回りにあった言葉の数々が、短いエッセイとともに届きます。

金田一 秀穂/編
『オツな日本語 日本人が大切に
伝えてきた言葉と心』(日本文芸社)



さすが広辞苑。言葉の百科事典。紹介される言葉も百花繚乱です。文章が楽しいので面白く読んでうちに、知識が増えていきます。

永江 朗/著
『広辞苑の中の掘り出し日本語 3
花鳥風月編』(バジリコ)

知って得する！

図書館活用術 vol.17



●「相互貸借（相互協力）」って、聞いたことありますか？

「読みたい本があるが、流山市の図書館に所蔵が無い・・・」このような時、諦めてしまっていないですか？
図書館が提供するサービスの一つに、図書館間相互協力というものがあります。

これは、千葉県内の他の図書館や、国立国会図書館から本を借用できる場合があるというものです。

対象：流山市民のみ（小学生以下のお子様からのご依頼の場合は、保護者の了承が必要となります）

方法：図書館備え付けの「予約カード」に必要事項をご記入の上、図書館の利用カードとあわせて
図書館カウンターへお持ちください。

* 流山市立図書館のホームページ、相互協力<千葉県内図書館蔵書検索>から、所在確認をすることも可能です。

* ご用意できるまでに、お時間がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

* 返却の際は、貸出し時のケースに入れて、直接カウンターまでお持ちください。（返却ボックスの利用不可）

* 本の延滞は、借用させて頂いた先方の図書館へもご迷惑をお掛けしますので、ご返却期日はお守りください。



子どもの木



しゅって笑える本

今回のテーマは、『笑い』！
おもしろい本があったら、
みなさんも教えてくださいね♪



子ども、おとも楽しめる
江戸小ばなし1
岡本 和明/文 つだ かつみ/絵
フレーベル館

とても短いお話が
ぎゅっとつまった1冊です。
全5巻あるので、つづきも
ぜひ読んでみてくださいね。



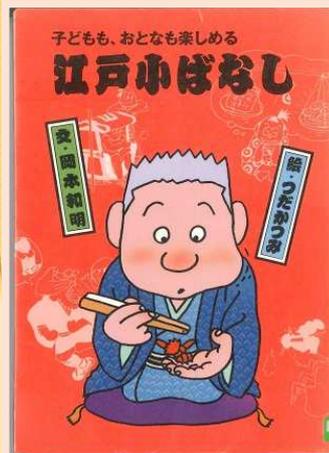
へんてこ へんてこ
長 新太/さく 佼成出版社

やまのなかにあるへんてこなはし。
わたるとみんなへんてこに。
どこがへんてこになるのかは、
読んでたしかめてみてくださいね。

ゴハおじさんの
ゆかいなお話
エジプトの民話

デニス・ジョンソン・デイヴィーズ/再話
ハグ・ナムディ・モハンメド・ファトゥーフと
ハーニ・エル・サイード・アハマド/絵
千葉 茂樹/訳 徳間書店

何百年も愛され続けている
ゴハおじさんのお話が15話
収録されています。
さし絵もイラストではなく布製
なので、ぜひご注目ください！



イベント情報

10月から12月も毎月イベントをおこないます！
くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。



10月 ハロウィン工作



11月 クリスマス工作



12月 クリスマスおはなし会スペシャル



みなさまのご参加、
おまちしてま〜す！！



これからの木の図書館

連絡先

木の図書館

電話:04-7145-8000

年末年始の閉館のお知らせ

流山市立図書館では、
12月29日(土)から1月4日(金)の間は、
 閉館となります。
 また、**12月28日(金)は午後5時までの**
 閉館となります。



郷土へのいざない vol. 18

～今の「坂川」を歩いてみました～

「坂川」は明治時代以降も、排水機の設置や放水路、護岸が作られるなど形を変え続け、現在は、「北千葉導水路」の一部として、洪水被害から流域を守る排水路の役割や、江戸川に必要な水が不足したときに利根川から必要な水を持ってくる導水路となっているそうです。



現在、「坂川」はどんな川になっているか、実際に歩いて見てきました。

坂川の護岸には、複数箇所、水量を見るメジャーが着いて、氾濫注意や避難判断などの文字が書いてありました。



街中を緩やかに流れる川で、美しいとはいえないのですが、水鳥や大きなコイの大群を数回見ました。釣り人もいます。いくつもの橋を通りすぎ、いく度か川筋が3本に分かれ、やがて江戸川へ合流するところまで・・・。

合流地点では、昔「渡し」として利用されていた場所もそのまま残っていました。



10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

は休館日
 は17:00まで開館
 はおはなし会
 はイベント
 はあかちゃんおはなし会

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)
 月末日(土・日・祝日を除く)
 年末年始(12/29~1/4)

開館時間 火曜日~土曜日
 日曜日、祝日

:9時30分~19時
 :9時30分~17時